

# 小樽地区 教育経営研究会

- 1 目的 学校経営に関わる諸課題並びに法制上の諸問題を解明し、校長としての職能向上を図り、学校経営の円滑な推進に資する。
- 2 主催 北海道小学校長会 北海道中学校長会 小樽市校長会
- 3 後援 北海道教育庁後志教育局 小樽市教育委員会
- 4 主管 小樽市校長会
- 5 日時 令和4年8月2日(火) 13:00～15:00
- 6 会場 ジブラルタ生命ビル3階会議室(小樽市色内3丁目2-1)
- 7 参加者 小樽市立小中学校長他(27名)
- 8 日程 13:00～13:20 開会式  
13:20～13:50 経営研究会Ⅰ(一般情勢説明)  
14:00～14:55 経営研究会Ⅱ(質問・要望事項の回答と協議)  
14:55～15:00 閉会式
- 9 経営研究会Ⅰ
  - (1) 一般情勢説明(北海道中学校長会 役員 村上 俊一 氏)
    - ①北海道小学校長会、中学校長会の活動や役割、組織について
      - ア チーム北海道としての北海道教育の振興について
      - イ 校長の職能向上について
    - ②一般情勢について
      - ア 運動部活動地域移行について
      - イ 子ども基本法への子どもの意見反映について
      - ウ 道小アンケート結果から校長退職者の動向について
      - エ 当面する学校経営上の課題について、今後の見通しを含め示唆

## 10 経営研究会Ⅱ

(1) 質問要望事項への回答(北海道小学校長会 幹事 吉本 将樹 氏)  
(北海道小学校長会 幹事 遠藤 隆典 氏)

- ① 今後の教科担任制の動向について
  - ・ R4 年度から本格的に導入
  - ・ 小学校での専科教員配置：授業の質向上、子どもの学習意欲の高まり
  - ・ 免許の関係で、配置が進まない事が課題
  - ・ 市町村をまたいでの兼務配置の例
- ② 全国学力・学習状況調査の CBT 化に関する情報について
  - ・ 児童質問紙は R6 年度より CBT 化
  - ・ 教科については、中学校から（特に英語）順次
- ③ 端末の活用について
  - ・ 授業での効果的な活用
  - ・ 家庭への持ち帰り：家庭学習の質の向上
  - ・ 臨時休業への備え
- ④ 今後の免許更新制度に関する情報について
  - ・ R5 年度から新たな研修制度
  - ・ 教員研修計画を作成し、研修履歴も残す
  - ・ 自己診断シートや自己評価シート等を活用
- ⑤ 令和 5 年度からの部活動の段階的な地域移行について
  - ・ 少子化による廃部や活動の縮小、教員の長時間労働などの課題に対応
  - ・ 2023 年～2025 年度を「改革集中期間」
  - ・ 休日から段階的に地域への移行
  - ・ 先進的な取組について、中学校の HP を紹介（苫小牧）
- ⑥ 教員不足・再任用についての動向
  - ・ 「潜在教員」（免許があっても教えていない）の活用
  - ・ 退職校長、再任用の動向：再任用 29.9%、再就職 53.8%、役付再任用の希望は 12.2%
- ⑦ 今後のデジタル教科書に関する情報
  - ・ 本格導入を目指す 2024 年度から採用する教科については、英語と算数・数学とする意見が多数
  - ・ 学習者用は、紙同様無料対象だが、指導者用は非対象

11 閉会式 小樽市小学校長会 副会長 谷本 慎司氏に代わり、同副会長 若林 晋氏より、謝辞ならびに主催者を代表しての挨拶で閉会